

4 広報関係

(1) 市報ちょうふ

【ごみ減量標語, ごみダイエット通信】

(2) ザ・リサイクル

第75号【平成29年7月20日発行】

第76号【平成29年11月20日発行】

第77号【平成30年3月20日発行】

(1) 市報ちょうふ ごみ減量標語

● 4月5日号

私にもできるごみ減量

「水切りネット」で
「ぎゅっ!」とひと絞り!!
生ごみの約8割が水分です。生ごみを捨てる前に「ぎゅっ!」とひと絞りするだけで、ごみの減量と生ごみの悪臭防止に大きな効果があります。

約8割が水分

ごみ対策課 ☎481-7812

● 5月5日号

私にもできるごみ減量

ごみ減量への第一歩、身近なところから始めましょう。
買い物はマイバックで

レジ袋はいりません

ごみ対策課 ☎481-7812

● 6月5日号

私にもできるごみ減量

店頭回収を利用しよう

牛乳パック、トレイ、ペットボトルなどは貴重な資源です。水でゆすぐなどお店のルールに従って、店頭回収を積極的に利用しましょう。

ごみ対策課 ☎481-7812

● 7月5日号

私にもできるごみ減量

リデュースに取り組もう

ごみとなるものは買わない、受け取らない。過剰な包装は断りましょう。

ごみ対策課 ☎481-7812

● 8月5日号

私にもできるごみ減量

混ぜればごみ
分ければ資源

プラマークの付いたトレイ・袋・ボトルなどは汚れを軽く水で流して「容器包装プラスチック」に分別して出してください。リサイクルの支障になるため、袋の中に、さらに袋を入れた「二重袋」の状態にしないで出しましょう。

ごみ対策課 ☎481-7812

● 9月5日号

私にもできるごみ減量

「食品ロス」を減らそう

まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」は、日本全国で年間約632万トンもあると言われています。料理をするときは適度な量を作るなど食品ロスを減らしましょう。

日本人は1人1日あたりお茶碗1杯分の食料を捨てています。

ごみ対策課 ☎481-7812

(1) 市報ちょうふ ごみ減量標語

● 1 1 月 5 日 号

私にもできるごみ減量
「生ごみを減らしませんか」

生ごみ処理機などの購入費を補助しています。

☑家庭用（家庭用生ごみ処理装置（生ごみ処理機）、家庭用たい肥化容器（コンポスト）、家庭用生ごみ処理剤）、法人用・集合住宅用（法人用生ごみ処理装置、集合住宅用生ごみ処理装置） ☎詳細は市☎参照。法人用・集合住宅用は購入前に承認の申請が必要

☎ごみ対策課☎481-7812



● 1 2 月 5 日 号

年末年始もごみ減量 3Rに取り組みよう

●リデュース (Reduce) ごみを減らすこと

例：お正月に向けて余計な物は買わない
食べ残しをしない

●リユース (Reuse) 繰り返し使うこと

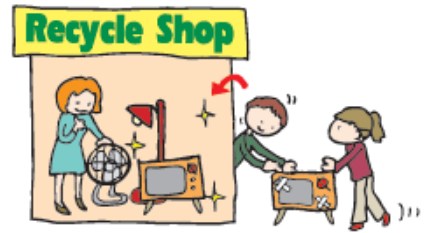
例：大掃除で出たまだ使えるものは譲ったり、リサイクルショップに売却する

●リサイクル (Recycle)

再資源化すること

例：大掃除のときにもきちんと分別する

☎ごみ対策課☎481-7812



● 2 月 5 日 号

私にもできるごみ減量

市民のアイデアを実践

ティーバッグは、使い終わったら“ぎゅっ”としぼり、数日間乾かしてから燃やせるごみとして出しましょう。



ごみ対策課☎481-7812

(1) 市報ちょうふ ごみダイエット通信

● 4月5日号

ごみダイエット通信 ⑬
☎ごみ対策課
481-7812・7686

【食品ロスを減らすために】
食材は食べきりましょう
 歓迎会などの季節です。会食の際には食べ残しをしないようにしましょう。
 また、身近な工夫で食品ロスを防ぐことができます。ごみ減量にご協力をお願いします。

◎**買い物をするとき**


- 事前に冷蔵庫内などをチェックしてから出かけましょう
- 安いからといってまとめ買いせず、必要な食材をその都度ごまめに購入しましょう

◎**調理をするとき**

- 「いつか食べる」食品は食品ロス予備軍です。まずは残っている食材から使いましょう。
- 定期的に冷蔵庫にある食材を使いきる食事を作りましょう。

【事故防止にご協力を】

スプレー缶・カセットボンベ・ライターなどを燃やせないごみに混ぜて出すと、ごみ収集車の中で引火し車両火災の原因となります。ごみ収集車の火災は毎年発生しており、大変危険なうえに、ごみの収集が遅れるなどの影響が出ます。車両火災などの事故を防ぐためにも、必ず中身を使い切って「有害ごみ」として出してください。



● 5月5日号

ごみダイエット通信 ⑭
☎ごみ対策課
481-7812・7686

●**調布市はリサイクル率全国6位**

環境省から発表された「一般廃棄物処理事業実態調査(平成27年度)」において、人口10万人以上50万人未満の239市のなかで、調布市はリサイクル率が38.4%で、全国第6位でした。

また、平成27年度の1人1日当たりのごみ排出量は、平成26年度実績の740.4グラムより4.6グラム減少し、735.8グラムで、全国第12位となりました。

これは、市民、事業者の皆さんの高い分別意識と、日頃の実践行動の結果によるものです。

●**ごみ減量のために**

燃やせるごみの中で最も割合が高いのが「生ごみ」で、約4~5割を占めています。生ごみを減量するには、まず、食べられる食品を捨ててしまう「食品ロス」を減らしましょう。


◎「食品ロス」を減らすには

- 必要な量だけ購入する
- 賞味期限に気をつける
- 食材を食べ切るなど

◎**生ごみが出てしまったら** 生ごみの約8割は水分です。生ごみを捨てる前に水切りネットを使って、ギュッと絞るだけでごみ減量につながります。

●**「ごみリサイクルカレンダー」「ごみアプリ」の活用を**

新年度が始まり毎日のごみの分別に迷ったら全戸配布している「調布市ごみリサイクルカレンダー」や「調布市ごみアプリ」を活用してください。詳細は市の☎をご覧ください。



リサイクル率(平成27年度)

項目	リサイクル率
全国平均	20.4%
多摩地区平均	31.4%
調布市	38.4%

1人1日当たりのごみ排出量(平成27年度)

項目	排出量(グラム)
全国平均	939.0
多摩地区平均	765.0
調布市	735.8


単位：グラム

● 6月5日号

ごみダイエット通信 ⑮
☎ごみ対策課
481-7686

●**本格的に梅雨入りする前に、せん定した枝木を資源化して活用を**

せん定された枝木を無料でチップ化しています。用途に応じて「一次処理(3cm程度に破碎)」もしくは「二次処理(さらに細かく粉碎)」をお選びいただけます。



◎**利用の流れ／**

- ①電話で利用日を予約
- ②予約日にせん定枝粉碎車両で伺い、その場でせん定枝をチップ化
- ③チップ化したものを全量お渡し

※●幹の太さが8cm以下、長さが1m以下の枝木 ●敷地内の樹木をせん定したもので、チップ化した枝木を敷地内で自己処理できる方

◎**対象にならない樹木／** ●竹、笹、シュロなど、チップ化に適さない堅い樹木 ●ウルシ、キョウチクトウ、アセビなど、毒性のある樹木 ●イチヨウ、松など、油分が多くせん定枝粉碎車両の故障のおそれのある樹木 ●バラなど、作業時に負傷するおそれのある樹木 ●落ち葉、草花、木の根、腐食した樹木 ●石、土、虫などが混入しているもの ●木材などの加工された樹木

◎**作業日／祝・休日を含む月～金曜日(1月1日～3日を除く)**

☎電話でごみ対策課☎481-7686へ※申し込みの際に、チップ化する枝の量、樹木の種類、作業場所をお聞きます。調布市ごみリサイクルカレンダー11頁、市の☎をご覧ください

☎枝を同じ向きにそろえ、直径30cm程度の束にしてください。事業所や集合住宅も利用可

● 7月5日号

ごみダイエット通信 14
問ごみ対策課 ☎481-7812

●ごみの減量のために
 平成28年度に調布市で家庭から排出された燃やせるごみの量は2万6515トンで、総ごみ量6万130トンの4割以上を占めています。燃やせるごみを減らすことで、さらなるごみ減量につながります。

◎生ごみの減量を
 燃やせるごみの中で最も割合が高いのが「生ごみ」で、約4～5割を占めています。生ごみを減量するには、まず、食べられる食品を捨ててしまう「食品ロス」を減らしましょう。

◎「食品ロス」を減らすには

- 必要な量だけ購入する
- 賞味期限に気を付ける
- 食材を食べ切るなど

◎生ごみが出してしまったら
 生ごみの約8割は水分です。生ごみを捨てる前に水切りネットを使って、ぎゅっと絞るだけでごみ減量につながります。

◎生ごみ処理機等購入費補助制度
 生ごみ処理機などの購入費に対して補助金を交付しています。

対象品	補助金額	数	再申請期間
家庭用生ごみ処理機※1	購入価格の2分の1相当額とし、2万円を限度	1世帯当たり 1基※2	5年※3
家庭用堆肥化容器			
家庭用生ごみ処理剤	購入価格の2分の1相当額とし、1年度につき1世帯5000円を限度	/	

※1 ディスポーザ（生ごみを破砕・粉砕する部位または機能）を有するものを除く
 ※2 2基で1つの処理作業を行うと認められる場合は、2基を補助対象
 ※3 過去に当補助金の交付を受けている場合は、補助金が交付された日の属する年度の翌年度から5年以内は申請不可
 ※4 購入してから6カ月以内でないと申請不可

● 8月5日号

ごみダイエット通信 15

三多摩は「つながり交流事業」
深大寺落語会

市のごみ焼却灰を受け入れている日の出町の方と、文化などを通じて交流し、相互の理解と信頼を深める目的で開催します。

◎9月30日(土)午後3時～4時30分(受付2時30分～)

※日の出町の方は1時10分～1時50分に観光ボランティアの案内で境内を散策
 ◎深大寺本堂
 ◎市内在住の方2人1組(1人での参加も可、未就学児不可)
 ◎春風亭柳好、桂米多朗
 ◎40人(多数抽選) ◎無料
 ◎メール、FAX、往復はがきに参加者全員(2人まで)の住所、氏名、年齢、電話番号、FAXでの申し込みはFAX番号を、散策から参加を希望する方は「散策希望」と明記し、8月22日(火)(消印有効)までに〒182-006小島町2-33-1文化会館 たくり3階調布FM「深大寺落語会」係 ☎438068・E-mail: hana2017@chofu-fm.comへ
 ◎申込時の個人情報をもとに保険に加入
 ◎ごみ対策課 ☎4817811

平成29年度3R促進
ホスターコンクール作品募集

循環型社会について考えるきっかけとして3R(リデュース、リユース、リサイクル)をテーマにしています。

応募規格/ B判四つ切画用紙(380ミリ×540ミリ)またはB3判(364ミリ×515ミリ)に手描きしたものの※パソコンなどを使用した作品や立体的な作品(糊などで貼り付けたもの、切り絵など)は不可

◎市内在住の小・中学生 ◎環境省、3R活動推進フォーラム
 ◎9月1日(金)(必着)までに〒182-004布田4-20-2調布シティビル2階ごみ対策課調布駅南口事務所へ持参または郵送
 ◎詳細は市のHPをご覧ください
 ◎お問い合わせください
 ◎ごみ対策課 ☎4817812

リユースでごみ減量

「リユース留館」では、粗大ごみとして出された家具などで、使用可能なものを手直して販売しています。

平成28年度の利用実績は、来館者が7266人、販売された品物は1108品です。
 ごみアウト前「motair hall」を含む言葉に、もう一度必要なものか考えてみませんか。
 ◎富士見町3-2-1(中央自動車道高架下)
 ◎開館時間/月・金曜日の午前9時30分～正午、午後1時～3時30分(年末年始、祝日は除く。第2・4土曜日は開館、第2・4月曜日が閉館)
 ◎ごみ対策課 ☎4817686

ごみダイエット通信 16

生ごみの水切りでごみ減量

生ごみの約8割が水分です。生ごみを捨てる前に「ぎゅっ」とひと絞りするだけで、ごみの減量と生ごみの悪臭防止に大きな効果があります。

夏は生ごみに含まれる水分が多くなる時期です。より一層の生ごみの水切りにご協力をお願いします。

◎ごみ対策課 ☎4817812

牛乳パックの回収にご協力

牛乳パックは大切な資源です。購入先の回収ボックスか、お近くの牛乳パック回収ステーションに出してリサイクルにご協力ください。

手順/ ①中身を空にして水でゆすぐ②切り開く③乾かす④回収ステーションへ※カビの発生を防ぐため、必ず手通りの排出をお願いします

◎ごみ対策課 ☎4817812

● 9月5日号

ごみダイエット通信 116

◎リデュース（ごみの発生抑制）にご協力を
ごみの減量で大切な「3R」を知っていますか。


3Rとは

- ①リデュース／ごみの発生を抑制する
- ②リユース／繰り返し使う
- ③リサイクル／再生して資源として活用する

この中で最も大切なのがリデュースです。ごみの減量のためには、ごみを発生させないことが一番効果的です。

次のことを実践して、さらなるごみの減量にご協力をお願いします。

- 食べ残しをしない●無駄な食材は買わない●マイバックを持参する●過剰包装を断る など



☎ごみ対策課 ☎481-7812

● 10月5日号


ごみダイエット通信 117

●混ぜればごみ、分ければ資源
～ごみ減量とリサイクルのため、きちんと分別を～

燃やせるごみの中には紙類が多く混入しています。チラシ、封筒、はがきなど名刺サイズ以上の大きさの紙はリサイクルできます。また、燃やせないごみの中に混入している、缶、ビン、食品トレイやペットボトルなどもきちんと分別をすることで資源になります。このほかにも、古着や使わなくなったタオル、シーツ、カーテンなどは古布として排出してください。細かな分別の積み重ねが、大きなごみの減量につながります。

●リデュースの取り組みを
～マイ箸・弁当箱・水筒を使おう～

使い捨てになる割り箸や弁当箱、ペットボトルなどは使わず、マイ箸・弁当箱・水筒を持ち歩きましょう。



☎ごみ対策課 ☎481-7686

● 11月5日号

ごみダイエット通信 「プラスチックの分別」

プラスチックは大きく2つに分別できます。「容器」や「包装」で「プラ」マークが付いている「容器包装プラスチック」とプラスチック製のおもちゃやバケツなどの「製品プラスチック」に分別されます。



容器包装プラスチックは容器包装プラスチックの収集日に透明か半透明の袋に入れて捨ててください。汚れの落ちない容器包装プラスチックと製品プラスチックは「燃やせないごみ」の収集日に指定収集袋に入れて出してください。


正しい分別にご理解とご協力をお願いします。

☎ごみ対策課 ☎481-7812

● 1 2 月 5 日 号

ごみダイエット通信

●有害ごみの正しい分別にご協力を



118

- カセットボンベやエアゾール缶（スプレー缶）は、中身を使い切ってから穴を開けずに「有害ごみ」として出してください。
- ライター・乾電池・蛍光灯、水銀が入っている体温計も「有害ごみ」です。
- 有害ごみは、「燃やせないごみ」と同じ日に収集しますが、袋には入れずカゴなどに入れて出してください。

☎ごみ対策課 ☎481-7686

● 2 月 5 日 号

ごみダイエット通信 119

粗大ごみの申し込みはお早めに

年度末は引越しの時期で、毎年申し込みが非常に多くなります。保管・処理のスペースに限りがあるため、申し込みが多いときは、収集まで3週間以上お待ちいただく場合があります。希望日に予約が取れないことがあります。余裕を持ってお申し込みください。

申し込み方法は、ごみリサイクルカレンダー15ページや市庁舎をご参照ください。

☎ごみ対策課 ☎481-7686

● 3 月 5 日 号

ごみダイエット通信 120

さんまろ いちまる 30・10運動で宴会料理をおいしく残さず食べきろう

30・10運動とは、宴会などで、はじめの30分は席を立たずに食事に集中し、残りの10分は自分の席に戻り食べ物を残さないように心掛けることです。



まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」は、全国で年間632万トンもあると言われています。

3月・4月は、特に宴会の多いシーズンです。

30・10運動を実践するとともに、適量を注文することを心掛け、「食品ロス」を減らしましょう。

☎ごみ対策課 ☎481-7812
文化振興課 ☎481-7140